

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 3 回「安全対策高度化技術検討」特別専門委員会
開催日時	平成 27 年 3 月 11 日(水) 20:05 ~ 20:25
開催場所	東京大学工学部 8 号館 226 会議室
参加人数	<p>35 名</p> <p>【委員】関村主査(東大)、東(MHI)、阿部(東北大)、糸井(東大)、大友(電中研)、小此木(東芝)、尾野(電事連)、佐治(MHI)、神保(東芝)、杉本(京大)、田中(INSS)、名倉(中電)、西田(日立GE)、文能(関電)、巻上(東電)、丸山(名大)、宮野(法大)、望月(阪大)、山口(東大)</p> <p>【常時参加者】井尻(電工会)、小澤(日立GE)、菅野(NRA)、紺谷(鹿島)、鈴木(JANSI)、津山(電工会)、浜田(電事連)、真子(電事連)、中富(METI)、中塚(METI)</p> <p>【事務局】滝沢(MRI)、近藤(MRI)、芦田(MRI)、島(MRI)、中村(MRA)、牧野(MRA)</p>
議 事	<p>1. 開催挨拶 関村主査が開催の挨拶を行った。</p> <p>2. 配布資料確認 事務局が配布資料の確認を行った。</p> <p>3. 第 2 回総会以降の活動総括 事務局が配布資料を用いてこれまでの活動内容や経緯について総括した。</p> <p>4. 第 7 回自主的安全性向上・技術・人材 WG への最終報告の確認・承認 第 7 回自主的安全性向上・技術・人材 WG への最終報告内容の確定に向けた手続きについて、以下のとおりに承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局にて報告案を作成し、各作業部会主査・幹事を含む、総会および幹事会の委員へメール添付あるいは必要に応じて個別説明により、報告案に対するコメントを頂く。 ・コメントを反映した最終報告案を事務局で取りまとめ、同委員全員に開示・共有し、最終報告案への反映を図る。 ・以上により取りまとめた、第 7 回 WG への最終報告資料の確定は、安全対策高度化技術検討特別専門委員会の主査に一任する。 ・第 7 回 WG への報告内容のうち、後日確定とするものは以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> - 課題全体をカバーするマスターロードマップと課題調査票の紐付(ID の採番) - 個別分野のロードマップとそこで引用する課題調査票 - 自主的安全性向上・技術・人材 WG から提示された 8 項目の課題別区分のロードマップ - 同ロードマップに記載する研究課題およびその優先度 ・なお、8 項目の課題別区分のロードマップに記載する研究課題の優先度付けの評

	<p>価は、学术界および産業界等から数名、事務局が検討委員を選任し、別途定めた評価軸に基づき点数付評価を行って頂いた結果を反映する。</p> <p>5. 学会からの公開報告について 学会報告書の公開方法が定まった時点で、事務局から関係者に連絡する。公開にあたっては、事前に事務局から関係者に内容に関する確認を依頼し、合意を得た上で公開する。</p> <p>6. 総括 関村主査、山口委員が今年度の活動について総括した。</p>
備考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 2 回「安全対策高度化技術検討」特別専門委員会
開催日時	平成 26 年 12 月 26 日(金) 15:00 ~ 16:35
開催場所	三菱総合研究所本社 東急キャピトルタワー4 階 CR-DE 会議室
参加人数	<p>34 名</p> <p>【委員】関村主査(東大)、新井(東芝)、糸井(東大)、尾野(電事連)、佐治(MHI)、田中(INSS)、中村(阪大)、西田(日立GE)、文能(関電)、本間(JAEA)、巻上(東電)、丸山(名大)、望月(阪大)、山口(阪大)、吉津(MHI)</p> <p>【常時参加者】小澤(日立GE)、菅野(NRA)、黒崎(東芝)、紺谷(鹿島)、津山(電工会)、浜田(電事連)、平井(NFD)、宮田(JANSI)、山本(MHI)、綿貫(電工会)、中富(METI)、中塚(METI)</p> <p>【事務局】滝沢(MRI)、落合(MRI)、松本(MRI)、芦田(MRI)、島(MRI)、中村(MRA)、高城(MRA)</p>
議 事	<p>1. 開催 関村主査が開催の挨拶を行った。</p> <p>2. 配布資料確認 事務局が配布資料の確認を行った。</p> <p>3. 第 1 回総会以降の活動総括 事務局が配布資料を用いてこれまでの活動内容や経緯について総括した。</p> <p>4. 第 4 回自主的安全性向上・技術・人材 WG(以下、WG)への中間報告内容の確認 事務局が WG への中間報告内容を紹介した。参加者からの主なコメントや確認事項は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では、ロードマップについて議論する上での骨格ができた段階であり、今後は骨格に対してボトムアップによる具体的な議論を通じた肉付けが必要になる。 ・具体的な議論を踏まえたボトムアップの過程で、骨格についてもさらに調整を図り、両者の並行作業により最終的な作り込みを行う。 ・今後は作り込みと合わせて、本 RM の運用に係る方向付けも重要になる。特に作業部会主査には、WG の議論の動向にも注視し、方向付けのコントロールをお願いしたい。 ・本 RM を取り纏めた後には、その内容や検討プロセス等を ICONE や IAEA といった国際的な会合等で、日本として情報発信していくべきである。 ・最終報告会の場となる WG は、2 月末から 3 月上旬にかけて開催される可能性もあるため、本委員会としては、2 月末には最終報告が可能な形にまで成果を取り纏める必要がある。 <p>5. 今後のスケジュール等 次回幹事会は 1 月 28 日(水)夕方、次回総会は 2 月 26 日(木)午後あるいは 3 月 4 日(水)午前を候補日として調整中である。</p>
備 考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 1 回「安全対策高度化技術検討」特別専門委員会
開催日時	平成 26 年 8 月 25 日(月) 13:30 ~ 16:30
開催場所	航空会館 801 会議室(東京都港区新橋 1-18-1)
参加人数	<p>38 名</p> <p>【委員】関村主査(東大)、村松(東京都市大)、宮野(法政大)、中村(阪大)、杉本(京大)、本間(JAEA)、鈴木(長岡技大)、森下(京大)、望月(阪大)、楠(東大)、丸山(名大)、西田(日立GE)</p> <p>【常時参加者】田中(INSS)、尾野(電事連)、佐治(MHI)、江里口(東芝)、川原(MHI)、高橋(MHI)、吉津(MHI)、平井(NFD)、真子(電事連)、鈴木(JANSI)、津山(電工会)、紺谷(鹿島)、香山(METI)、中塚(METI)</p> <p>【事務局】滝沢(MRI)、阿部(MRI)、芦田(MRI)、落合(MRI)、杉山(MRI)、松本(MRI)、島(MRI)、中村(MRA)、羽場(MRA)、高城(MRA)、小沢(MRA)、田中(MRA)</p>
議 事	<p>1. 開催</p> <p><input type="checkbox"/>関村主査が開催の挨拶を行った。</p> <p><input type="checkbox"/>各委員が自己紹介を行った。</p> <p>2. 背景・目的の確認</p> <p><input type="checkbox"/>経済産業省より軽水炉安全技術・人材ロードマップ(以下、RM)の策定方針についての説明があり、出席者との質疑応答を行った。</p> <p>3. 技術ロードマップ検討に資する国内外調査</p> <p><input type="checkbox"/>事務局より国内外の原子力政策動向に関する調査結果について説明を行い、RM 検討の観点から出席者との質疑応答を行った。</p> <p>4. 総合討議</p> <p>議題 2、3 を踏まえ、総合討議を行い、主に以下の点を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本 RM は、軽水炉への国民の理解、信頼回復を念頭に、国民が理解できる構成にて策定する。 ・本委員会での検討結果は、原子力小委員会の下に設置される「自主的安全性向上・技術・人材 WG」へ報告し、また同 WG の検討内容を踏まえた議論を行うこととし、両方でキャッチボールしながら進める。 ・持続可能なエネルギーという観点から、安全対策については、コストベネフィットの観点からの検討も行う。 ・本委員会では、規制機関を含めて、学会という様々な関係各所のメンバーが参画する場の利点を生かして、幅広い意見を集約・反映する。 ・短期的な課題については、平成 27 年度当初の時点で、既に具体的な研究が着手されていて、ローリングも行われるということを前提としてロードマップ検討を進める。

	<p>・全体フレームの検討と詳細な RM の策定は並行して進める必要があり、全体フレームについては幹事的な役割を担うメンバーで会合を持ち、検討を行う。作業部会は、別途事務局が開催方法を調整する。</p> <p>5. 今後のスケジュール等</p> <p><input type="checkbox"/>次回総会は年内に開催し、そこまでの検討結果の合意の場とする。事務局は各会合のメンバー等を整理して共有する。</p>
備考	